

## 第9回 小平稲門会女子懇親会の報告

日時 11月21日(土)12:00~15:00

場所 国分寺丸井9階 中華料理「華琳」

会費 各自注文実費

参加者 白井・大竹・藤崎・久保田・荒木・OG真篠 (敬称略)

★お話し担当 藤崎さん「短歌のお話」



いつもご出席の牧野さんや、ご用事と重なった姉崎さん、生井さん、中島さんがご欠席、少し寂しい女子会になりました。全員が空いている日は見つけ難いですね。食事の後は、藤崎さんの「短歌のお話」。なんと若山牧水のお酒にまつわるお話。あの自然を愛し旅を愛した牧水が毎日一升酒を??? (´-`)-☆

### ≪藤崎さんのお話≫

- ★「幾山河越えさり行かば寂しさのはてなむ国ぞ今日も旅ゆく」白鳥はかなしからずや空のあをうみのあをにも染まらずただよふ」この代表的な歌から想像されるイメージを覆すようですが、若山牧水は大酒飲みの歌人でした…。
- ★宮崎県日向の山奥で生まれ、父は医者、母は藩主の娘、経済的にも恵まれた家に誕生。その上3人の女の子の後に、母40歳近くでやっと生まれた跡取り、家族の喜びは一入だった。小学校に入ると秀才ぶりを発揮、教師は彼の中に文学性を見出し指導。中学では投稿作品が入選し、短歌の道に進む。
- ★明治37年早稲田大学文学科に入学、同級生には北原白秋が居り、白秋の紹介で石川啄木とも親交。18歳の時、号を「牧水」としたが、その「牧」は母の名「まき」から、「水」は生家の周りの溪谷や雨などから流れ来る美しい「水」から。当時牧水が最も愛していたもの二つを繋げたもの。
- ★青春の苦い思い出。実は結婚して2人の女兒のいた園田小枝子に恋し結局失恋、その時期に読んだ歌が「白鳥は〜」「幾山河〜」と言われている。だが小枝子は短歌に全く興味が無く、牧水の歌も理解できなかった? 彼女と結婚しなくて良かったと歌人の一人である藤崎さんは言う。
- ★その後太田水穂の主宰グループに入るが、そこで長野から上京の太田喜志子と知り合い結婚。夫婦仲は良く、家庭は楽しかった。牧水が亡くなった時には借金と仕事しか残っていなかったと言われるほど家は貧しかったが、夫婦は子供達に貧しさを感じさせない豊かな愛情を注いだ。旅人、みさき、真木子、富士人と名付けた子供達の名前から、牧水がどれほど自然を愛しその思いを子供達に伝えようとしたかが良くわかる。
- ★結婚してからの20数年も含めて、牧水は人生の五分の一を旅に費やす。何故それほどまでに旅に憧れたのか。ブッセの「山の彼方の空遠く〜」の影響もあるだろうが、寂しさの果てる国はない、生きている限り孤独で寂しいと分かっていたから旅に出たのではないかと藤崎さんは仰る。牧水は旅の歌人…。
- ★一方、牧水は大酒飲みの歌人。ここからが今日の話の本番? 牧水は朝から毎日1升は飲んだと言われているが、それは父母に責任がある? 赤ん坊の頃、泣き止まぬ牧水に母はガーゼに焼酎をしみこませて吸わせ、膝であやす父は指にお酒を付けて吸わせたとか。特に母まきは「1升瓶」というあだ名がつくほどのお酒好き、因みに人々は牧水のことを、これは尊敬の念を込めて「酒仙」とか「酒聖」とか呼んだそうだ。
- ★牧水には酒に対する美学があった。酒を飲むときは常に正座、(一説には短足で胡坐がかけなかった?) 爛をして静かに飲む、酒を敬い謹んで飲む、牧水は一人静かに飲むことを楽しんだ人だった。
- ★44歳の若さで、肝硬変で逝去。9月17日暑いさなかにもかかわらず、アルコール漬け? 死臭も死斑もなかった。最後の日も朝食、酒200CCと医師の日記に記されている。末期の水もお酒だったと藤崎さんの話。嘘のような話だが、牧水の短歌8,000首のうち200首がお酒の歌だそうだから、やはりこの話は本当の話だったのかもしれない。

最後にその200首のお酒の歌の中から、藤崎さんが選んだ数首をご紹介します。みなさんそれぞれ好きな歌を選びました。

- 白玉の歯にしみとほる秋の夜の酒はしづかに飲むべかりけり
- かんがへて飲み始めた一合の二合の酒の夏のゆふぐれ
- ちんちろり男ばかりの酒の夜をあれちんちろり鳴きづるかな
- それほどにうまきかと人のとひたらばなんと答へんこの酒の味
- 人の世にたのしみ多し然れども酒なしにしてなにのたのしみ
- 足音を忍ばせて行けば台所にわが酒の壺は立ちて待ちをる
- 妻が眼を盗みて飲める酒なれば惶て飲み噎せ鼻ゆこぼしつ (死の4か月前)
- 酒ほしきまぎらはすとて庭に出でつ庭草をぬくこの庭草を (急性胃腸炎兼肝硬変にて逝去)
- 鉄瓶のふちに枕しねむたげに徳利かたむくいざわれも寝む

さて、皆さんはどの短歌がお好きでしょうか…。因みに藤崎さんは最後の「鉄瓶の…」がお好きだそうです。

お酒を飲まない女性達が、お酒のお話とはこれ如何に?…それにしてもあの牧水が毎日1升酒を飲んでいたとはねえ…

次回の女子会は1月18日(月)12時「華琳」、お話しは久保田さん担当で「遺産相続の話」です。

(文と写真:荒木)